

# 令和3年度 事業者向け自己評価表 アンケート（職員用）結果

事業所名：放課後等デイサービス 結ぶる美谷東京

項目	番号	チェック項目	工夫している点・改善目標など
環境・体制整備	1	利用定員と指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	少し狭いが、指定基準を満たしています。広い空間を作る工夫もしています。また、活動するスペース・制作や学習をするスペースに分けています。クールダウン・個室のスペースの確保を検討中です。
	2	職員の配置は適切であるか	指定の職員数は配置しています。送迎時間や場所によって足りないように感じる面があるが基準となる人数以上を配置します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	一階段の手すりがつき、構造上難しい為スタッフ間で安全面を配慮しています。1階の物件探しも検討し続けている状況です。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	日々の振り返り、ミーティング・支援日誌で広く職員が参画している。
	5	保護者等向け評価表の活用等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者からの意見や相談にしっかり耳を傾け、スタッフに報告・共有・話し合いで業務改善に繋げるよう努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページでの公開を準備しています。
	7	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部の研修はコロナ感染でできなかったが、事業所内での研修は日々行っています。
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	面談を行い、ニーズや課題を客観的に分析しスタッフの意見を取り入れ、作成しています。
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	定期的に見直し、使用しています。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	個々のプログラムの見直し、また立案を全体で行っています。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	追加・更新するよう工夫しています。
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	子どもの状況に応じて作成しています。
	13	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	打ち合わせ、活動内容、役割分担の確認は毎日行っています。
	14	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	終了後、支援日誌を記入しながら、スタッフ間で振り返りを行い、気が付いた点、良い点、悪い点、また、利用者さんの伸びた面や支援の仕方の話し合いなど常に共有し、より良い支援をまた成長に努めています。
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	細かな記録をとり、他スタッフが読んでもわかるよう検証・改善に繋がっています。意見交換ができるようにしています。
	16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的モニタリングを行い、半年に1回、見直しの必要性と判断しています。

項目	番号	チェック項目	工夫している点・改善目標など
関係機関や保護者との連携	17	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	実際支援を行い、子どもの状況に詳しい職員が担当し情報交換・共有を行っています。
	18	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	保護者や学校から行事や下校時刻等の情報を頂いたり、共有として申し送りをしています。
	19	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、こどもの主治医等との連絡体制を整えているか	医療ケアを必要とする児童の受入れは行っていません。
	20	就学時に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	状況に応じて情報共有と相互理解を務めています。
	21	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	保護者からの要請がある場合情報提供をしています。
	22	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	参加しています。
	23	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳・送迎時また、電話やLINE等で共有理解を持っています。
	24	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	主に送迎時・学校迎え等でペアレント・トレーニングを行っています。
保護者への説明責任	25	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に運営規定等について丁寧に行っています。
	26	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適応に応じ、必要な助言と支援を行っているか	日頃より保護者からの悩み事に対する相談に適応に応じるよう職員に周知しています。いつでも受入れ真摯に対応しています。
	27	父母の会の活動を支援したり、保護者会等の開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	今年は開催できなかったが、支援に努めています。
	28	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	対応の体制の整備・苦情があった場合に迅速かつ丁寧に対応しています。
	29	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月1回、利用要望書と共に結ぶる通信を発行しています。
	30	個人情報に十分注意しているか	個人情報のファイルは鍵付きロッカーに保管し、取り扱いについては注意を払っています。
	31	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮はしているか	解り易い対応を心がけています。
非常時等の対応	32	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルに関しては整備中です。職員・保護者へより解り易いものを提供できるよう準備しています。
	33	非常災害時の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	防災館などでの体験行事等で訓練を行っています。また事業所内研修を行ったうえで、訓練を行っています。
	34	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	事業所での研修会を行い、適切な対応をしています。
	35	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	「行動面での同意書」または個別支援計画の「行動面での安全確保」の欄に必要なに応じて個々への対応を記載しています。
	36	植物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約時にアレルギー情報について確認し、職員館で情報共有を行うとともに職員のみ確認できるスペースに掲示を行っている。
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットが起こった場合、すぐに記載し詳しく記入を行っています。職員に報告し共有。話し合い、注意する点などを再確認しています。再発防止につとめています。